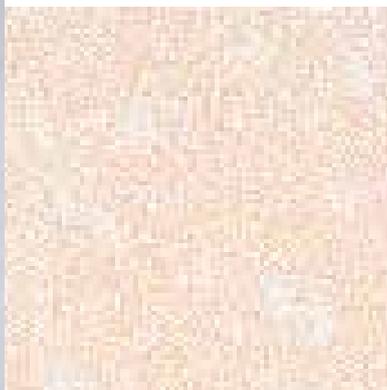


貴重書紹介

『和蘭産物考』(洋学資料コレクション)



佐賀大学附属図書館蔵

解説

おらんださんぶつずこう

和蘭産物圖考全5巻

本書の著者^{ふじもとよし}藤元良は、伊勢出身の鍼灸師で、寛政年間(1789～1801)に京都に住んだ。長崎で求めたベルギーのイエズス会士のフェルビースト(南懐仁)の著書をもとにして、寛政9年(1797)に京都の文泉堂より出版したもの。絵入りの世界地誌ともいうべきもので、南蛮の珍獣や風俗、帆船などを描いている。18世紀後半から、我が国の周囲には西洋諸国の船があらわれ、対外的関心が高まりつつあった。そうした背景をもとに出版されたもの。写真は「あないわ」という遊びに興じている黒坊(黒人)の図である。

(地域学歴史文化研究センター教授 青木歳幸)